

2026年度 町田市立小山田小学校 学校経営計画・学校評価報告書(自己評価・学校関係者評価)

令和8年3月31日

学校教育目標	すずんで学ぶ子 思いやりのある子 じょうぶで元気な子	学校経営の重点	地域と連携した教育活動の推進 運動・働き方改革を推進した学校運営	学ぶ意欲を大切に学習指導	いじめ見逃しを旨とする生活指導	かわりあう力を伸ばす特別活動
○目指す学校像……	多様な他者とのかわりを通して、子供たちが自分のよさを見つけ、自信と意欲をもって学んでいく学校	重点目標の成果と課題				
○目指す児童……	学ぶことに楽しさ、面白さを感じる子供 自己肯定感をもち、他者を大切にすること 命を大切にし、心も身体も元気な子供					
○目指す教師像……	向上心をもち、子供たちのために職務に動く ビジョンと情報を共有し、協働して教育活動を展開する 保護者・地域と連携し、信頼される					

領域	教育プランに基づく経営目標	中期・短期経営目標	具体的方策	取組指標	平均	評価	成果指標	○	%	評価	分析コメント	改善策	学校関係者評価 記入欄	評価			
社会に開かれた教育課程の 実現	目指す学校及び子どもの姿を家庭や地域社会と共有、連携した教育課程を実施する。	地域の環境や人材を生かした体験活動(小山田学習)を企画し、実施する。	ゲストティーチャーや外部講師、地域ボランティアを積極的に活用する。	1. 年間指導計画に設定した地域学校協働活動の90%以上を実施			A. 学校評価アンケート「A」[「地域連携教育活動」]肯定的評価 80%以上										
				2. 年間指導計画に設定した地域学校協働活動の80%以上を実施			B. 学校評価アンケート「A」[「地域連携教育活動」]肯定的評価 70%以上										
				3. 年間指導計画に設定した地域学校協働活動の70%以上を実施			C. 学校評価アンケート「A」[「地域連携教育活動」]肯定的評価 55%以上										
				4. 年間指導計画に設定した地域学校協働活動の実施率が70%未満			D. 学校評価アンケート「A」[「地域連携教育活動」]肯定的評価 55%未満										
				1. 全学年で計画通りに実施			A. 全教員が持続可能な活動計画を立案										
				2. 80%以上の学年で計画通りに実施			B. 持続可能な活動計画を立案した教員が80%以上										
				3. 50%以上の学年で計画通りに実施			C. 持続可能な活動計画を立案した教員が70%以上										
				4. 計画通りに実施できなかった学年が50%未満			D. 持続可能な活動計画を立案した教員が50%未満										
				1. 週に5~6回以上の情報発信を実施			A. 学校評価アンケート「A」[「情報発信」]肯定的評価 90%以上										
				2. 週に1~2回以上の情報発信を実施			B. 学校評価アンケート「A」[「情報発信」]肯定的評価 70%以上										
3. 月に2回以上の情報発信を実施			C. 学校評価アンケート「A」[「情報発信」]肯定的評価 55%以上														
4. 月に1回の情報発信を実施			D. 学校評価アンケート「A」[「情報発信」]肯定的評価 55%未満														
4. 必要情報の90%以上を周知・意見交換			A. 学校評価アンケート「A」[「地域との一体化」]肯定的評価 80%以上														
3. 必要情報の80%以上を周知・意見交換			B. 学校評価アンケート「A」[「地域との一体化」]肯定的評価 70%以上														
2. 必要情報の70%以上を周知・意見交換			C. 学校評価アンケート「A」[「地域との一体化」]肯定的評価 55%以上														
1. 必要情報の70%未満を周知・意見交換			D. 学校評価アンケート「A」[「地域との一体化」]肯定的評価 55%未満														
1. 90%以上の教職員と確認			A. 職務を重点化して実行した教職員が90%以上														
2. 80%以上の教職員と確認			B. 職務を重点化して実行した教職員が80%以上														
3. 70%以上の教職員と確認			C. 職務を重点化して実行した教職員が70%以上														
4. 確認した教職員が70%未満			D. 職務を重点化して実行した教職員が70%未満														
1. 90%以上の教職員が出勤時刻を掌握した			A. 時外労働月当たり45時間以内の教職員が90%以上														
2. 80%以上の教職員が出勤時刻を掌握した			B. 時外労働月当たり45時間以内の教職員が80%以上														
3. 70%以上の教職員が出勤時刻を掌握した			C. 時外労働月当たり45時間以内の教職員が70%以上														
4. 出勤時刻を掌握した教職員が70%未満			D. 時外労働月当たり45時間以内の教職員が70%未満														
確かな学力の育成	子どもが主体的に学び、教師が深く授業改革を進め、主体的・対話的で深い学びを実現することで、基礎的な学習の態度と思考力、判断力、表現力等とともに学び続ける力の育成を図る。	子供が「分かるできる楽しいと自覚できる授業」を展開する。	「授業をデザインする8つの取組」を踏まえた授業改革をすすめる。	1. 90%以上の授業で実践して授業した			A. 学校評価アンケート「A」[「基礎基本習得」]肯定的評価 80%以上										
				2. 80%以上の授業で実践して授業した			B. 学校評価アンケート「A」[「基礎基本習得」]肯定的評価 70%以上										
				3. 70%以上の授業で実践して授業した			C. 学校評価アンケート「A」[「基礎基本習得」]肯定的評価 55%以上										
				4. 70%未満の授業で実践して授業した			D. 学校評価アンケート「A」[「基礎基本習得」]肯定的評価 55%未満										
				1. 90%以上の授業で実施			A. 児童アンケート肯定的評価80%以上										
				2. 70%以上の授業で実施			B. 児童アンケート肯定的評価70%以上										
				3. 70%未満の授業で実施			C. 児童アンケート肯定的評価55%以上										
				4. 70%未満の授業で実施			D. 児童アンケート肯定的評価55%未満										
				1. 90%以上の単元で実施			A. 学校評価アンケート「A」[「学びに向かう姿勢」]肯定的評価 80%以上										
				2. 80%以上の単元で実施			B. 学校評価アンケート「A」[「学びに向かう姿勢」]肯定的評価 70%以上										
3. 70%以上の単元で実施			C. 学校評価アンケート「A」[「学びに向かう姿勢」]肯定的評価 55%以上														
4. 70%未満の単元で実施			D. 学校評価アンケート「A」[「学びに向かう姿勢」]肯定的評価 55%未満														
1. 90%以上の単元で実施			A. 児童アンケート肯定的評価80%以上														
2. 80%以上の単元で実施			B. 児童アンケート肯定的評価70%以上														
3. 70%以上の単元で実施			C. 児童アンケート肯定的評価55%以上														
4. 70%未満の単元で実施			D. 児童アンケート肯定的評価55%未満														
豊かな心の涵養	多様性を尊重し、自分と共に他者を大切にすること意識・態度を育てる。	生命を大切にすることや、他人を思いやる心、規範意識等を育てる。	道徳科の授業では、道徳的価値に基づいた「自分を振り返る」時間を設定する。	1. 90%以上の授業で実施			A. 児童の80%以上が振り返り実施										
				2. 80%以上の授業で実施			B. 児童の70%以上が振り返り実施										
				3. 70%以上の授業で実施			C. 児童の55%以上が振り返り実施										
				4. 70%未満の授業で実施			D. 児童の55%未満が振り返り実施										
				1. 90%以上のいじめに対して指導継続			A. 児童アンケート肯定的評価80%以上										
				2. 80%以上のいじめに対して指導継続			B. 児童アンケート肯定的評価70%以上										
				3. 70%以上のいじめに対して指導継続			C. 児童アンケート肯定的評価55%以上										
				4. 90%未満のいじめに対して指導継続			D. 児童アンケート肯定的評価55%未満										
				1. 90%以上の指導場面で実施			A. 児童アンケートでの満足評価 80%以上										
				2. 80%以上の指導場面で実施			B. 児童アンケートでの満足評価 70%以上										
3. 70%以上の指導場面で実施			C. 児童アンケートでの満足評価 55%以上														
4. 70%未満の指導場面で実施			D. 児童アンケートでの満足評価 55%未満														
1. 安全教育の授業で月に1回以上指導実施			A. 学校評価アンケート「A」[「安全意識」]肯定的評価 80%以上														
2. 安全教育の授業で学期に2回以上指導実施			B. 学校評価アンケート「A」[「安全意識」]肯定的評価 70%以上														
3. 安全教育の授業で学期に1回以上指導実施			C. 学校評価アンケート「A」[「安全意識」]肯定的評価 55%以上														
4. 安全教育の授業で年に1回以上指導実施			D. 学校評価アンケート「A」[「安全意識」]肯定的評価 55%未満														
健全な生活習慣の育成	正しい生活習慣を身に付けさせ、丈夫な体とたくましく心を育てるとともに、自助・共助・公助の力を身に付けさせる安全指導・安全教育を充実する。	運動の日常化と健康教育及び食育の充実を図り、基礎体力の向上を図る。	体力テストの結果分析を生かした体育科の授業や小山田フェスタを実施し、運動の日常化に向けた取組を行う。	1. 90%以上の指導場面で実施			A. 80%以上の児童が課題項目で体力が向上										
				2. 80%以上の指導場面で実施			B. 70%以上の児童が課題項目で体力が向上										
				3. 70%以上の指導場面で実施			C. 55%以上の児童が課題項目で体力が向上										
				4. 90%以上の指導場面で実施			D. 55%未満の児童が課題項目で体力が向上										
				1. 90%以上の指導場面で実施			A. 学校評価アンケート「A」[「食習慣・生活習慣」]肯定的評価 80%以上										
				2. 80%以上の指導場面で実施			B. 学校評価アンケート「A」[「食習慣・生活習慣」]肯定的評価 70%以上										
				3. 70%以上の指導場面で実施			C. 学校評価アンケート「A」[「食習慣・生活習慣」]肯定的評価 55%以上										
				4. 70%未満の指導場面で実施			D. 学校評価アンケート「A」[「食習慣・生活習慣」]肯定的評価 55%未満										
				1. 90%以上の指導場面で実施			A. 学校評価アンケート「A」[「食習慣・生活習慣」]肯定的評価 80%以上										
				2. 80%以上の指導場面で実施			B. 学校評価アンケート「A」[「食習慣・生活習慣」]肯定的評価 70%以上										
3. 70%以上の指導場面で実施			C. 学校評価アンケート「A」[「食習慣・生活習慣」]肯定的評価 55%以上														
4. 70%未満の指導場面で実施			D. 学校評価アンケート「A」[「食習慣・生活習慣」]肯定的評価 55%未満														
1. 90%以上の必要情報に対して実施			A. 必要情報の80%以上を共有														
2. 80%以上の必要情報に対して実施			B. 必要情報の70%以上を共有														
3. 70%以上の必要情報に対して実施			C. 必要情報の55%以上を共有														
4. 70%未満の必要情報に対して実施			D. 必要情報の55%未満を共有														

取組指標の平均	3.5以上	⇒ 評価A	成果指標評価基準	成果指標平均	80%以上	⇒ 評価A	学校関係者評価の評価基準	A⇒ 取組・成果ともに十分評価できる
取組指標平均	3以上3.5未満	⇒ 評価B		成果指標平均	70%以上	⇒ 評価B	B⇒ 取組・成果ともに評価できるが、さらに改善したい	
取組指標平均	2以上3未満	⇒ 評価C		成果指標平均	55%以上	⇒ 評価C	C⇒ 目標達成には至らなかったため、次年度の改善が必要	
取組指標平均	2未満	⇒ 評価D		成果指標平均	55%未満	⇒ 評価D	D⇒ 重要な課題があるため、次年度、重点的に改善	

※ 学校独自に設定する場合は、枠内を修正明記してください。 ※ 学校からの十分な説明をもとに、学校運営協議会で成果と課題、改善点について協議する。